

関空国際貨物機能強化で確認書

■大阪税関／関西エアポート、検査センターの検討も

財務省大阪税関と関西エアポートは6月30日、関西国際空港のさらなる機能強化に向けた連携を深めることを目的に「国際貨物機能強化に係る連携推進に関する確認証」を手交した。主な連携事項は、財務省関税局が公表した「税関中長期構想2030」に基づく航空貨物検査センター設置の検討、国際航空貨物に係るオペレーション効率化、周辺地自体と連携した産業集積・物流機能の強化など。

関西エアポートは国際貨物地区の老朽化や貨物需要の増加に伴う貨物上屋のキャパシティ不足などに対応し、将来に向けた貨物オペレーションを構築するために、国際貨物地区改修プロジェクト「Cargo Next→」を推進している。今回、関西国際空港の国際貨物機能の強化を目的に、官民連携をさらに深めるために大阪税関と確認書を取り交わした。

確認書に基づき、大阪税関と関西

エアポートは今後、民間事業者や関係省庁、地方公共団体といった関係者との連携を一層強化する。国際航空貨物分野におけるさまざまな課題に官民が一体となって対応し、航空貨物の「スピード」「安全」「利便性」を高める。それによって関西国際空港の国際物流拠点としての機能向上、競争力強化を図るとともに、地域経済の発展につなげる。